

2020年度事業

事後評価および点検検証の実施に関するご案内



詳細は研修時(2023年2月21日)に説明します。
ご不明点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

1.事後評価の目的



事業成果の達成状況の評価と事業の妥当性を自己評価します。

「事実特定＋価値判断」
をそれぞれに行う

成果の可視化

事業の成功要因と
課題の検証

事業にとって重要と
判断する項目
(任意)

根拠とともに結論を出す

事業の成果の達成度
どうだったか？

事業実施プロセスは
適切だったか？

事業の実施の妥当性
(価値)は高かった
か？

学びを抽出する

提言
(自団体・事業関係
者・資金分配団体・
JANPIA)

知見・教訓
(汎用性のある
学び)

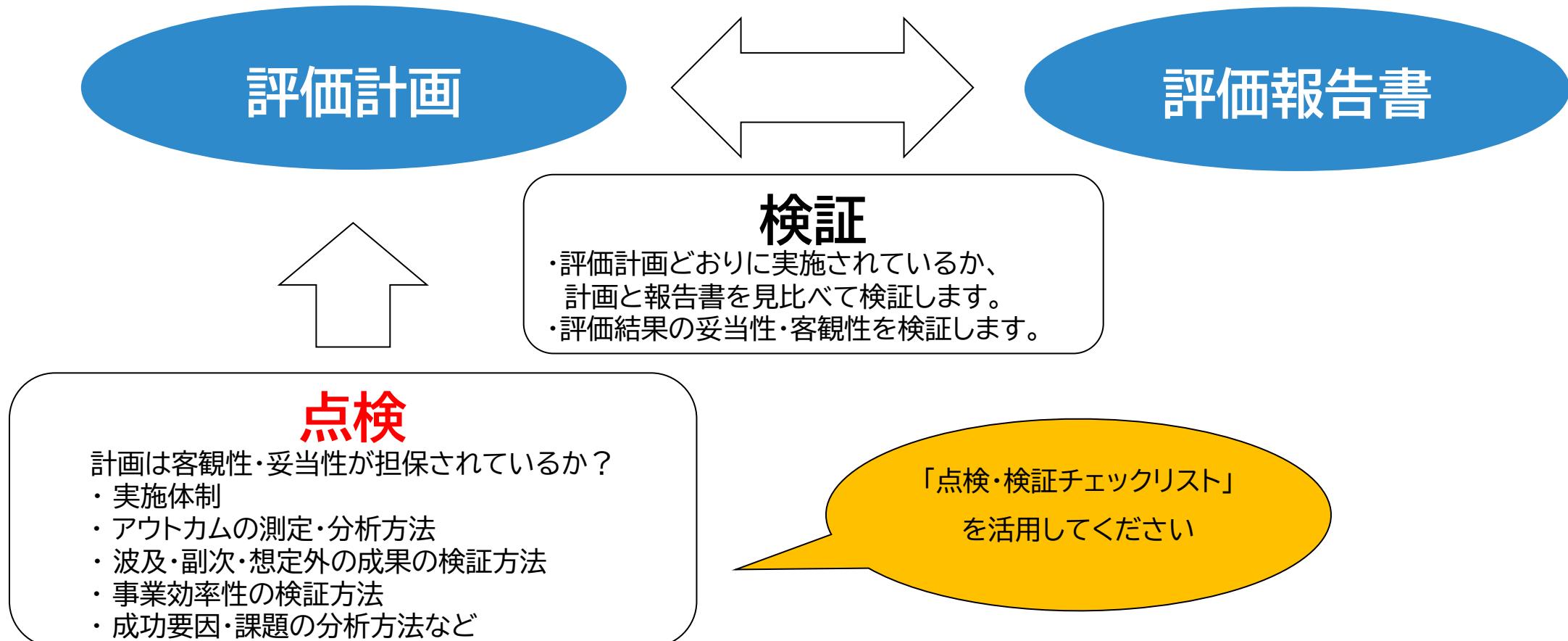
社会課題解決
に役立つ
知の構造化を
目指します

「成果の可視化」は、あらかじめ設定した短期アウトカム指標のほか、波及的・副次的・想定外の成果も含めて検証を行い、事業の効率性についても検証します。

2. 事前・中間評価と大きく異なる点 ~中間評価を受けての改善~



評価実施前に、評価計画の「点検」を行い、評価の質を事前に高めることを目指します。



3.「点検」の実施方法



【資金分配団体の計画の点検】

団体ごとにJANPIA担当PO、評価チーム、評価専門家と「場」を設定します。

実施時期：7～11月末目途（資金分配団体の希望時期にて調整）

※中間評価レビュー会からの変更点：

- ①2～3団体でのピアレビュー会形式ではなく、**団体ごと個別に実施**
- ②評価専門家と分野専門家の2名体制から、評価専門家1名体制

評価に関する議論
を集中的に
実施します

JANPIAにて点検チェックリストと専門家コメントをまとめたものを作成・共有します（非公開）。

【実行団体の計画の点検】

月次定例会等の場において、資金分配団体にて「点検」を実施してください。

実施時期：7月末～を目途に実施してください

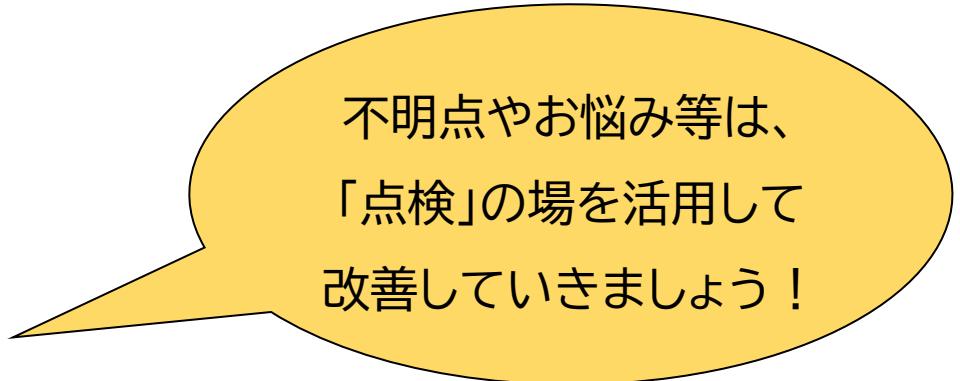
※「点検・検証チェックリスト」をご活用ください。不明点がある場合はJANPIAPOにご相談ください

3. 点検に向けて「事後評価計画の具体化」とは

＜具体化する項目例＞

評価実施体制・方法の妥当性・客観性を担保するために、計画を具体化し、関係者で内容を確認・協議します。

- 実施体制
- 実施スケジュール
- アウトカムの測定方法
- アウトカム測定結果の価値判断の仕方
- 成功要因・課題の分析の仕方
- 事業効率性の検証方法
- 事業で重要とする事項が検証される計画になっているか
- 提言、知見・教訓を導き出す方法
- 評価関連経費の活用方法



不明点やお悩み等は、
「点検」の場を活用して
改善していきましょう！

4. 留意点



- 事後評価実施時期は、事業活動の繁忙期を避け、団体ごとに適切な時期を設定してください。
- 事後評価報告書提出期限は、事業完了報告書前としていますが、前倒しで実施・提出いただいても構いません。
- 評価の実施時期に關係なく、事後評価の計画の具体化は、7月末を目途に完了し、速やかに「点検」を行ってください。

※ 不明点がある場合には、JANPIA担当POにご相談ください。

5. 検証の実施方法



事前評価・中間評価と同じ位置づけです。

評価報告書の妥当性・客観性を点検・検証します。

事業終了時となるため、「場」の設定は行いません。

事後評価報告書最終版受領前までに、事後評価報告書ドラフト版を共有いただき、適時JANPIAによる検証を実施します。

「検証」の結果は資金分配団体にフィードバックしますので、JANPIA担当POとの協議の上、事後評価報告書に反映してください。